

ごあいさつ

我が国の社会情勢は、産業及び経済構造の変革、諸外国による技術力向上、環境問題への対応など大きな変革期を迎えています。

このような状況の中、安全・安心な社会や国際競争力を支える社会、また、地球規模の環境問題の克服など科学技術が果たす役割への期待は大きくなっており、産学官をあげての科学技術開発の推進は重要なものとなっています。

また、近年、地震やゲリラ豪雨などの自然災害が頻発しており、地域の方々に安心して暮らしていただくためにはライフラインを支える社会資本整備等に関する技術の発展は極めて重要であり、その際のコスト縮減、建設リサイクルの推進などニーズも多様化する中で、さまざまな局面に対応できる技術が求められています。

「建設技術フェア 2010 i n 中部」は本年度 14 回目の開催を迎えますが、厳しい経済情勢にも関わらず多くの出展者の参加を頂き今年も中部技術事務所構内で開催することとなりました。

「建設技術フェア 2010 i n 中部」には、産学官の技術開発や新技術の導入・促進、建設 ICT の普及・促進を図ることを目的に、道路分野、河川分野、港湾・空港分野など 9 分野で 76 の技術を展示します。

その中には、NETIS に登録された技術や建設 ICT 技術、新技術・新工法等の出展も行います。さらに、屋外展示では災害対策車両の稼働展示や歩道探査車の操作体験ならびにバリアフリーの体験等を企画しております。

この催しが、一般の方々ならびに社会資本整備に携わる技術者の方々の技術力向上のための貴重な場となり、建設分野における新しい技術や工法について認識の向上が図られ、現場において積極的な導入が促進されることを期待するものです。

最後に、「建設技術フェア 2010 i n 中部」の開催にあたりご尽力いただいた出展者をはじめ関係各位のご協力に心より感謝を申し上げますとともに中部地方の更なる発展に向けて、今後とも引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 22 年 11 月

建設技術フェア i n 中部実行委員長
(国土交通省 中部地方整備局 企画部長)
野田 徹